学校番号	3033

令和８年度　探究科

教科	探究	科目	(学)IBARAMA Ⅳ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「高等学校　情報Ｉ」（数研出版） 「セミナー　情報Ｉ」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これからの Society 5.0 と呼ばれる社会では、情報の活用だけでなく、その仕組みや技術を知ったうえで、新たな物事を生み出すことが求められます。

皆さんは、すでに IBARAMA Ⅰでその第一歩を踏み出しました。情報モラルや著作権について、ＳＮＳの功罪について、レポートを書いたり研究を進めたりするときに注意すべき法律について、身に付けたことでしょう。

さらに IBARAMAⅢでは、具体的にコンピュータを操作することを中心に据えながら、情報社会と情報技術について学びました。

さて、IBARAMAⅣでは、メディアとネットワークを中心に、表現と情報伝達について学びます。情報は、単にそこに存在しても意味はありません。表現され、伝達されてこそ意味があるのです。情報社会において、表現と情報伝達の発展は社会の発展と表裏一体といってもよいでしょう。生きている限り誰もが、情報の受け手であるとともに送り手でもあることから逃れられません。情報の受け手として、送り手としてどのようにあるべきかを学びましょう。そして、３年間の集大成として、情報社会の問題解決にどのように参画できるか、ともに考えましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】

情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する技術や仕組みを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

メディアとコミュニケーション手段の関係、適切なコミュニケーションのための情報デザインを知り、目的や状況に応じてそれらを適切に選択することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

情報社会における問題の発見・解決のために、学んできた情報の特性をふまえながら情報技術を主体的に活用できるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
三年前期	コミュニケーションと情報デザイン（Ⅲでも一部取り扱う）	講義を通してメディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を学ぶ。	a: メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷もふまえて科学的に理解している。 b: 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現している。 c:情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとしている。	定期考査	定期考査	授業観察 パフォーマンス課題
	情報通信ネットワークとデータの活用（Ⅲでも一部取り扱う）	講義を通して情報通信ネットワーク・情報システムのしくみを学ぶ。	a: 情報通信ネットワークのしくみや構成要素、プロトコルの役割および情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 b: データの収集、整理、分析および結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善している。 c: 情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。	定期考査	定期考査	授業観察
三年後期	総合演習	(学)IBARAMAⅠ、 (学)IBARAMAⅡ、 (学)IBARAMAⅢ、 (学)IBARAMAⅣで学んだ内容を総合して、情報社会における種々の問題に対し、何に注意を払いながらどのように関わることができるかを考える。	a:アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し、技能を身につけている。 b:目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用している。 c: 情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題	授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度